

全国で3例目！中部地方で初！新工法【リパッシブ工法】の現場見学会

静岡国道事務所では、国道52号穴原橋において新工法【リパッシブ工法】による橋梁補修工事の現場見学会を全6回（平成25年5月14日（火）～20日（月））にわたり開催しました。

現場見学会では、延べ40名の建設関係者が新工法の概要説明及び模型を用いた施工実演を行い、**全国で3例目（中部地方では初）**となる新工法に関する知見を学びました。

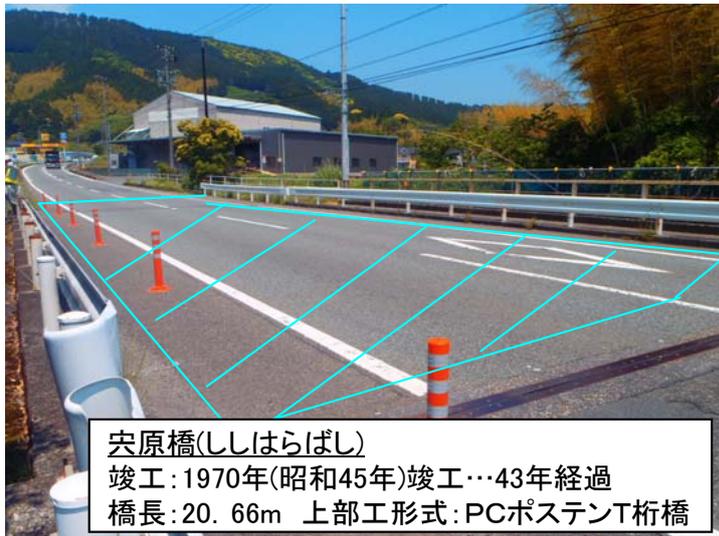
【新工法【リパッシブ工法】とは】

橋梁内部の腐食したPC鋼材(コンクリートに緊張を与える鋼材)に、亜硝酸リチウムを充填し、鋼材の腐食を抑制する工法です。(防錆効果が期待でき、長期的な腐食抑制効果が期待できます。)

【見学会位置図】



【穴原橋全景】



穴原橋(ししはらばし)
竣工:1970年(昭和45年)竣工…43年経過
橋長:20.66m 上部工形式:PCポステンT桁橋

【現場見学会】

模型を用いた施工実演



新工法による橋梁補修状況

